令和 6年度（5年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和06年05月21日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	169	いきいきクラブ活動補助事業						
	この事務事業 の位置		政策	健康で生き生きと暮らせるまち							
			施策	生涯にわたって健康に暮らせるようにしよう							
			基本事業	生きがい・働きがい							
	主管課名		長寿介護課		課長名	杉浦 光					
	この事務事業の開始時期		平成19(1997)年4月		事務区分	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		みよし市いきいきクラブ活動等補助金交付要綱								
	事業の概要				現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	いきいきクラブ活動等により一層の活性化を図り、高齢者の生きがい又は健康づくりを推進することにより、高齢者の生活意欲の向上又は介護予防に資するとともに、明るい長寿社会の実現及び保健福祉の向上を図ることを目的に、いきいきクラブみよし連合会の事業に対して、補助金を交付する。 【SDGsの取組：8】				いきいきクラブが実施する社会奉仕活動、社会参加活動、健康増進活動、教養学習活動、スポーツ振興事業等の事業に要する費用のうち、運営費、事業費を対象に補助し地域のいきいきクラブの活動を活発化させる。						
	R5年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			市内いきいきクラブの連携と会員相互の親睦を図ることを目的に、社会奉仕活動、社会参加活動、健康増進活動、教養学習活動、スポーツ振興事業等の事業に要する費用のうち、運営費、事業費に対して補助した。							
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか				(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	働く意欲のある高齢者が増加することが予測され、加入率が低下する可能性がある。			名称		単位					
				① 地区いきいきクラブ数			クラブ				
		② いきいきクラブ会員数			人						
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)				(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
市内の高齢者				名称		単位					
		① 高齢者人口			人						
		②									
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)				(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
いきいきクラブが実施する活動に参加する高齢者の増加				名称		単位					
		① いきいきクラブ加入率			%						
		②									
結果(上位基本事業の意図)				(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
積極的に社会参加し、健康で生きがいのある生活を送ってもらう。				名称		単位					
		① 生きがい・働きがいの取組の満足度割合			%						
		②									
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標 \ 年度	単位	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
(1)の 活動指標	① クラブ	21	21	21	21	21	21	21			
	② 人	2,739	3,493	2,543	2,600	2,700	2,800	2,900			
(2)の 対象指標	① 人	11,493	11,726	11,493	11,661	11,959	12,192	12,425			
	②										
(3)の 成果指標	① %	23.8	30	21.8	30	30	30	30			
	②										
(4)の結果の 成果指標	① %	69.1	82.5	80.9	80.9	80.9	80.9	80.9			
	②										
予算費目	会計	01 一般会計				款	03	項	01	目	06
コスト	年度	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A	単位	6,003	6,231	5,730	5,811	5,811	5,811	5,811			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	751	746	662	748	748	748			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	5,252	5,485	5,068	5,063	5,063	5,063			
人件費 B	千円	1,056	876.5	950.4	950.4	950.4	950.4	950.4			
正職員従事時間×人数	時間×人	100×3	83×3	90×3	90×3	90×3	90×3	90×3			
正職員以外の人件費	千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用 C	千円	0	0	0	0	0	0	0			
トータルコスト A+B+C	千円	7,059	7,107.5	6,680.4	6,761.4	6,761.4	6,761.4	6,761.4			
単位あたりコスト	① 千円/人	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.5			
(トータルコスト/(2)の対象指標)	② 千円/	0	0	0	0	0	0	0			

事務事業名	No.	169	いきいきクラブ活動補助事業
-------	-----	-----	---------------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	☒ 得られている ☐ 得られていない	理由	いきいきクラブの活動の活性化のために必要である。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない	その理由	いきいきクラブの活動を助成する対象を見直す必要はない。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない	その理由	いきいきクラブの活動を助成する目的を見直す必要はない。
	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容		いきいきクラブが高齢者の見守り活動等の友愛活動に実施することにより、成果が向上できる。
	目的達成状況	内容		地域のいきいきクラブの活動が地域を活発化させると考えるため、一定の目的は達成している。
	市関与の必要性（実施手法）	内容	☐ 民間への一部委託 ☐ 民間への全部委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金・負担金助成 ☐ 市の直営 補助金を交付する。	
有効性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容		事業を統廃合することにより、成果の向上させることができない。
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等ではないか？）	内容		現状の活動内容を維持するために、事業費を削減することはできない。
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	☒ ある ☒ 現状で適正 ☐ ない ☐ 検討が必要 ☐ 受益者がいない	内容	適正である。

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	会員数が年々減少している。	対応策	会員になるメリットを検討する必要がある。
	R6年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	補助事業の対象経費をいきいきクラブ連合会に対して補助金を交付した。	変更追加	継続して実施するため、前年度と同様・同規模で実施。
	今後の事業・コスト・成果の方向性	今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 いきいきクラブの活動を支援するため今後も継続して補助する。 今後のいきいきクラブの活動事業において、会員になるメリットをいきいきクラブ連合会の事務局である社会福祉協議会に検討を促す必要がある。			
	☐ 拡大 ☐ 改善 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 統合 ☐ 完了 ☐ 廃止・休止				
	コストの方向性	→ 維持			
	成果の方向性	→ 維持			

令和 6年度（5年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和06年05月17日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	171	シルバー人材センター補助事業						
	この事務事業の位置		政策	健康で生き生きと暮らせるまち							
			施策	生涯にわたって健康に暮らせるようにしよう							
			基本事業	生きがい・働きがい							
	主管課名		長寿介護課		課長名	杉浦 光					
	この事務事業の開始時期		昭和63(1988)年		事務区分	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		公益社団法人みよし市シルバー人材センター補助金交付要綱								
	事業の概要				現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	「自主、自立」「共働、共助」の理念に基づき、豊かな経験と技術を持つ高齢者に対し、安全で働きやすい就業の場を提供することにより、健やかでいきいきとした老後の生活の維持を図ることを目的に、シルバー人材センターが行う組織の強化、会員の拡大及び就業機会の開拓など高齢者の生きがい事業に対し、補助金を交付している。 【SDGsの取組：8，10】				高齢者の豊かな経験や能力を生かし、就労を通じて自らの生きがいの充実や活力ある地域づくりに貢献してもらうためにも必要である。						
	R5年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			シルバー人材センターが行う組織の強化、会員の拡大及び就業機会の開拓、広報活動の強化、会員の研修と福利事業、安全就業の推進などの高齢者の生きがい事業を補助するために、補助金を交付した。							
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか				(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	退職の年齢が延長している			名称		単位					
				①	シルバー人材センター数	か所					
				②							
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)				(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
シルバー人材センターの会員				名称		単位					
				①	シルバー人材センター会員数	人					
				②							
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)				(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
シルバー人材センターの運営が適正になされる				名称		単位					
				①	シルバー人材センターの受託件数	件					
				②							
結果(上位基本事業の意図)				(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
生きがいのある充実した生活を送ってもらう				名称		単位					
				①	生きがい・働きがいの取組の満足度割合	%					
				②							
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標 \ 年度	単位	R4年度実績値	R5年度計画値	R5年度実績値	R6年度計画値	R7年度目標値	R8年度目標値	R9年度目標値			
(1)の活動指標	① か所	1	1	1	1	1	1	1			
	②										
(2)の対象指標	① 人	368	380	373	380	380	380	380			
	②										
(3)の成果指標	① 件	1,937	1,980	2,043	2,100	2,150	2,200	2,250			
	②										
(4)の結果の成果指標	① %	69.1	82.5	89.5	89.5	89.5	89.5	89.5			
	②										
予算費目	会計	01 一般会計				款	03	項	01	目	06
コスト	年度	R4年度実績値	R5年度計画値	R5年度実績値	R6年度計画値	R7年度目標値	R8年度目標値	R9年度目標値			
事業費(決算又は予算額) A	単位	43,126	43,794	40,174	47,995	47,656	47,071	49,602			
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	43,126	43,794	40,174	47,995	47,656	47,071	49,602		
人件費 B	千円	704	528	809.6	809.6	809.6	809.6	809.6			
正職員従事時間×人数	時間×人	100×2	75×2	115×2	115×2	115×2	115×2	115×2			
正職員以外の人件費	千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用 C	千円	10	0	0	0	0	0	0			
トータルコスト A+B+C	千円	43,840	44,322	40,983.6	48,804.6	48,465.6	47,880.6	50,411.6			
単位あたりコスト	① 千円/人	119.1	116.6	109.9	128.4	127.5	126	132.7			
(トータルコスト/②)の対象指標	② 千円/	0	0	0	0	0	0	0			

事務事業名	No.	171	シルバー人材センター補助事業
-------	-----	-----	----------------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	☒ 得られている ☐ 得られていない	理由	シルバー人材センターの適正な運営を図るために必要である。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない	その理由	シルバー人材センターの適正な運営を図るため、対象を見直す必要はない。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない	その理由	シルバー人材センターの適正な運営を図るため、目的を見直す必要はない。
有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	シルバー人材センターの会員数が増加することにより、高齢者の生きがい・働きがいにつながる。	
	目的達成状況	内容	シルバー人材センターの一定の受託件数があることから、概ね達成している。	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	☐ 民間への一部委託 ☐ 民間への全部委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金・負担金助成 ☐ 市の直営補助金	
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	事業を統廃合することにより、成果を向上させることができない。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はないか？）	内容	シルバー人材センターの適正な運営のために削減はできない。	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	☐ ある ☐ 現状で適正 ☐ ない ☐ 検討が必要 ☒ 受益者がいない	内容	直接的な受益者はいない。

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	退職年齢の引上げ等により、会員の確保が難しい状況にある。	対応策	会員の確保につながるよう、シルバー人材センターに啓発の強化を依頼する。
	R6年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	シルバー人材センターが行う高齢者生きがい事業に補助金を交付した。	変更追加	継続して実施するため、前年度と同様・同規模で実施。
	今後の事業・コスト・成果の方向性		今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 高齢者の生きがい・働きがい確保するためにも、シルバー人材センターの適正な運営が必要であることから、今後も継続して補助していく。		
コストの方向性		→ 維持			
成果の方向性		→ 維持			

令和 6年度（5年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和06年05月17日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	172	高齢者生きがいセンター運営管理事業						
	この事務事業の位置		政策	健康で生き生きと暮らせるまち							
			施策	生涯にわたって健康に暮らせるようにしよう							
			基本事業	生きがい・働きがい							
	主管課名		長寿介護課		課長名	杉浦 光					
	この事務事業の開始時期		平成16(2004)年度		事務区分	☐ 法定受託事務 ☒ 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		みよし市高齢者生きがいセンター「太陽の家」の設置及び管理条例								
	事業の概要				現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	指定管理制度の導入に伴い、みよし市高齢者生きがいセンター「太陽の家」の指定管理者は、公益社団法人みよし市シルバー人材センターが選定され、基本協定、年度協定を締結した。この協定に基づき、運営管理されている。 指定管理期間 令和6(2024)年4月1日から令和11(2029)年3月31日までの5年間 【SDGsの取組：8, 11】				高齢者の豊かな経験や能力を生かし、就労を通じて自らの生きがいの充実や福祉の増進を促進する拠点として施設管理及び運営面の充実を図る。						
	R5年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			生きがいセンター「太陽の家」の施設管理を、指定管理者である社団法人みよし市シルバー人材センターが行った。							
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）						
変 化 内 容	高齢者人口が増加している。				名称		単位				
					①	生きがいセンター利用者数	人				
					②						
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）						
生きがいセンター「太陽の家」					名称		単位				
					①	生きがいセンター「太陽の家」施設数	か所				
					②						
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）						
生きがいセンターの運営が適正になされる					名称		単位				
					①	生きがいセンター利用者数	人				
					②						
結果(上位基本事業の意図)					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）						
生きがいのある充実した生活を送ってもらう					名称		単位				
					①	生きがい・働きがいの取組の満足度割合	%				
					②						
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標 \ 年度	単位	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
(1)の 活動指標	① 人	5,254	5,500	4,780	4,900	5,000	5,100	5,200			
	②										
(2)の 対象指標	① か所	3	3	3	3	3	3	3			
	②										
(3)の 成果指標	① 人	5,254	5,500	4,780	4,900	5,000	5,100	5,200			
	②										
(4)の結果の 成果指標	① %	69.1	82.5	89.5	89.5	89.5	89.5	89.5			
	②										
予算費目	会計	01 一般会計				款	03	項	01	目	06
コスト	年度	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R5年度 実績値	R6年度 計画値	R7年度 目標値	R8年度 目標値	R9年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A	単位	13,307	6,891	6,116	5,776	5,751	5,820	5,751			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	83	86	64	86	86	86	86		
	一般財源	千円	13,224	6,805	6,052	5,690	5,665	5,734	5,665		
人件費B	千円	704	704	809.6	809.6	809.6	809.6	809.6			
正職員従事時間×人数	時間×人	100×2	100×2	115×2	115×2	115×2	115×2	115×2			
正職員以外の人件費	千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用C	千円	10	0	0	0	0	0	0			
トータルコストA+B+C	千円	14,021	7,595	6,925.6	6,585.6	6,560.6	6,629.6	6,560.6			
単位あたりコスト	① 千円/か所	4,673.7	2,531.7	2,308.5	2,195.2	2,186.9	2,209.9	2,186.9			
(トータルコスト/(2)の対象指標)	② 千円/	0	0	0	0	0	0	0			

事務事業名	No.	172	高齢者生きがいセンター運営管理事業
-------	-----	-----	-------------------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	☒ 得られている ☐ 得られていない	理由	高齢者生きがいセンターで働くシルバー人材センター会員の生きがい・働きがいにつながっている。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない	その理由	高齢者生きがいセンターで働くシルバー人材センター会員が対象のため、対象を見直す必要はない。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	☐ ある ☒ ない	その理由	高齢者生きがいセンターで働くシルバー人材センター会員の生きがい・働きがい目的のため、目的を見直す必要はない。
有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	シルバー人材センターの会員数が増加することにより、高齢者の生きがい・働きがいにつながる。	
	目的達成状況	内容	概ね達成している。	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	☐ 民間への一部委託 ☐ 民間への全部委託 ☒ 指定管理 ☐ 補助金・負担金助成 ☐ 市の直営 みよし市シルバー人材センター	
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	事業を統廃合することにより、成果を向上させることができない。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はないか？）	内容	高齢者生きがいセンターの適正な運営のために削減はできない。	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	☐ ある ☐ 現状で適正 ☐ ない ☐ 検討が必要 ☒ 受益者がいない	内容	直接的な受益者はいない。

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	建築後、約30年が経過していることから、計画的な修繕が必要である。	対応策	施設の長寿命化を高齢者福祉施設個別施設計画に基づき実施する。
	R6年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	生きがいセンター「太陽の家」の施設管理を、指定管理者である社団法人みよし市シルバー人材センターが行った。	変更追加	継続して実施するため、前年度と同様・同規模で実施。
	今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案	
☐ 拡大 ☐ 改善 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 統合 ☐ 完了 ☐ 廃止・休止			※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容施設管理及び運営面の充実を図るため、継続して事業を実施する。		
コストの方向性			→ 維持		
成果の方向性			→ 維持		